

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種100社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

平成30年4～6月期の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】平成30年4月～6月

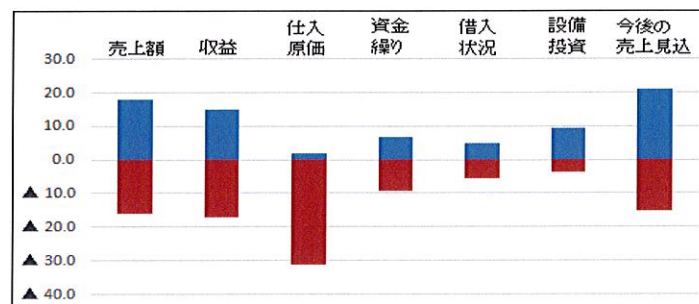
【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種を小規模事業者を中心に100社にアンケートをお願いした。(回答企業数 52社 52%)

※DI値の算出方法:①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)／全体数×100－(④+⑤)／全体数×100でDI値を算出する。

問1 今期の貴社の状況は、昨年の同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

全 体		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	3	13	21	15	1	減少
収益	増加	1	14	23	12	3	減少
仕入原価	低下	0	2	19	31	1	上昇
資金繰り	好転	0	7	36	10	0	悪化
借入状況	減少	0	5	42	6	0	増加
設備投資	低下	0	10	40	2	1	上昇
今後の売上見込	増加	0	22	18	10	3	減少

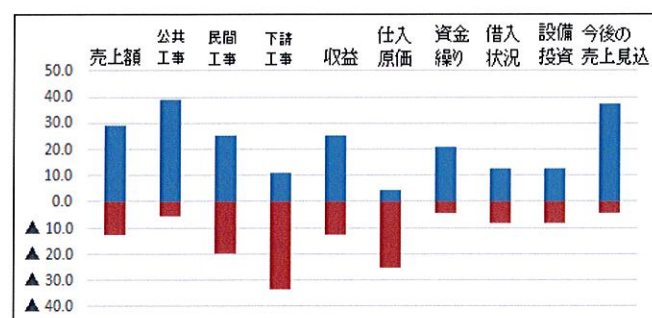


平成30年4～6月にかけての全業種の売上額については、DI値で1.9ポイントの微増となったが、収益が▲1.9ポイントと収益に繋がっていない状態である。要因として、仕入原価が▲29.2ポイントと全業種でマイナスとなっており、パート・アルバイトを雇用する企業、特に小売業、観光サービス業では、最低賃金の引上げ等による人件費の上昇が要因と考えられる。

また、約半数の企業が人手不足と回答があり、雇用確保に苦慮されている。業種別で見ると建設業では75%の企業が人手不足であり、受注可能な工事が行えない状態の企業もある。

今後の売上見込みにについては、建設業33.3ポイント、卸売業7.7ポイント、観光サービス業11.1ポイントと増加を見込む結果であった。

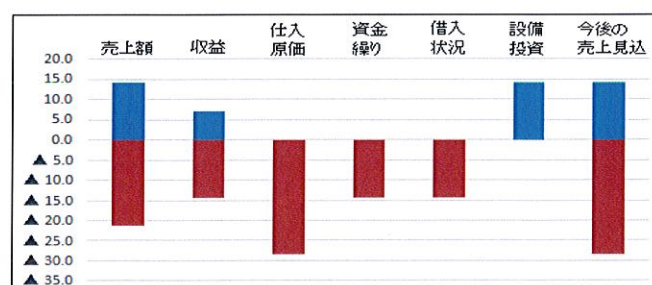
建 設 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	2	3	4	3	0	減少
公共工事(元請)	増加	1	5	2	1	0	減少
民間工事(元請)	増加	1	3	3	2	1	減少
下請け工事	増加	0	2	3	2	2	減少
収益	増加	1	4	4	3	0	減少
仕入原価	低下	0	1	5	6	0	上昇
資金繰り	好転	0	5	6	1	0	悪化
借入状況	減少	0	3	7	2	0	増加
設備投資	低下	0	3	8	0	1	上昇
今後の売上見込	増加	0	9	2	1	0	減少



※公共工事売上なし3件、民間工事売上なし2件、下請け工事売上なし3件。

建設業のDI値では、下請け工事▲22.2ポイント、仕入原価▲20.8ポイント以外は、全てDI値でプラスになっている。特に公共工事は33.3ポイント、今後の売上見込33.3ポイントとなっており、災害復旧工事等の受注等が考えられる。

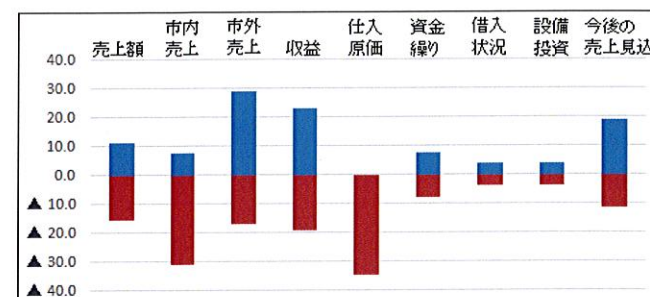
小 売 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	2	2	3	0	減少
収益	増加	0	1	4	2	0	減少
仕入原価	低下	0	0	3	4	0	上昇
資金繰り	好転	0	0	5	2	0	悪化
借入状況	減少	0	0	5	2	0	増加
設備投資	低下	0	2	5	0	0	上昇
今後の売上見込	増加	0	2	2	2	1	減少



小売業のDI値では、設備投資が14.3ポイントであったが、仕入原価で▲28.6ポイントと大幅にマイナスになっている。仕入原価の上昇、人件費の高騰等で収益の減少となっていると考えられる。

卸 売 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	3	6	4	0	減少
市内売上	増加	0	2	3	8	0	減少
市外売上	増加	0	7	1	4	0	減少
収益	増加	0	6	2	5	0	減少
仕入原価	低下	0	0	4	9	0	上昇
資金繰り	好転	0	2	9	2	0	悪化
借入状況	減少	0	1	11	1	0	増加
設備投資	低下	0	1	11	1	0	上昇
今後の売上見込	増加	0	5	5	3	0	減少

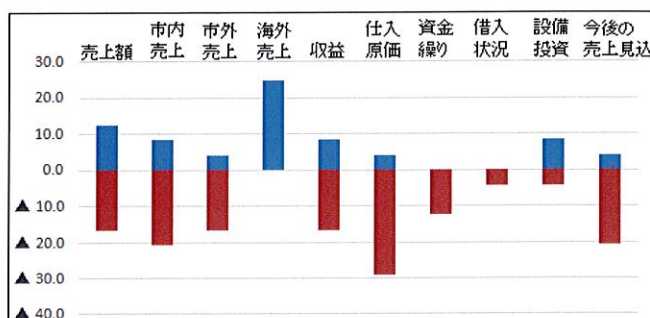
卸売業のDI値では、小売業と同様、仕入原価が上昇し、▲34.6ポイントとなっている。市内売上は▲23.1ポイントと減少しているが、市外売上は12.5ポイントと上昇している。



※市外売上なし1件。

製 造 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	3	5	4	0	減少
市内売上	増加	0	2	6	3	1	減少
市外売上	増加	0	1	8	2	1	減少
海外売上	増加	1	0	3	0	0	減少
収益	増加	0	2	7	2	1	減少
仕入原価	低下	0	1	4	7	0	上昇
資金繰り	好転	0	0	9	3	0	悪化
借入状況	減少	0	0	11	1	0	増加
設備投資	低下	0	2	9	1	0	上昇
今後の売上見込	増加	0	1	7	3	1	減少

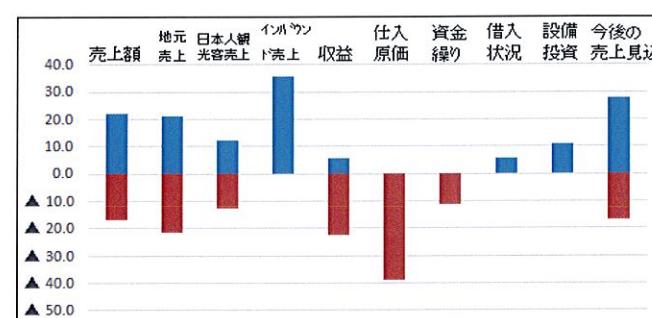
製造業のDI値では、仕入原価で▲25.0ポイント、今後の売上見込でも▲16.7ポイントのマイナスとなっている。売上については、市内売上、市外売上、共に▲12.5ポイントであったが、海外売上は、25.0ポイントと上昇している。



※海外売上なし8件。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	1	2	4	1	1	減少
地元売上	増加	1	1	3	1	1	減少
日本人観光客売上	増加	0	2	4	2	0	減少
インバウンド売上	増加	2	1	4	0	0	減少
収益	増加	0	1	6	0	2	減少
仕入原価	低下	0	0	3	5	1	上昇
資金繰り	好転	0	0	7	2	0	悪化
借入状況	減少	0	1	8	0	0	増加
設備投資	低下	0	2	7	0	0	上昇
今後の売上見込	増加	0	5	2	1	1	減少

観光サービス業のDI値では、外国人観光客の増加に伴い、インバウンド売上が35.7ポイント上昇している。しかしながら、仕入原価が▲38.9ポイントと大幅にマイナスで、収益悪化の一因となっている。



※地元売上なし2件、日本人観光客売上なし1件、インバウンド売上なし2件。

問2 「人手不足」についてお答えください。

	人手不足である	人手不足ではない	求人職種
全体	25件	27件	
建設業	9件	3件	技術者⑨、現場作業員⑤、営業
小売業	3件	4件	レジ担当、タイヤ販売・修理、整備士
卸売業	6件	7件	製造、営業②、配送②、販売、作業員
製造業	5件	7件	調理士③、製造②、接客、事務、印刷機オペレーター
観光サービス業	2件	7件	店舗運営、営業、製造

問3 今年度、海洋高等学校と当所で協定を締結し、その事業の一環として「市内事業所様の人手不足解消」、「高校生の地元就職」を目的に「インターンシップ事業」を行う予定です。
「インターンシップ事業」(職場体験等)

	受入可能	受入不可	未定
建設業	6件	4件	2件
小売業	2件	3件	2件
卸売業	1件	7件	5件
製造業	2件	5件	5件
観光サービス業	4件	3件	2件
合計	14件	22件	16件

ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。